

オーストラリア金融政策(2017年5月) ～政策金利は据え置き。将来の利上げ時期が早まる可能性。～

2017年5月2日

お伝えしたいポイント

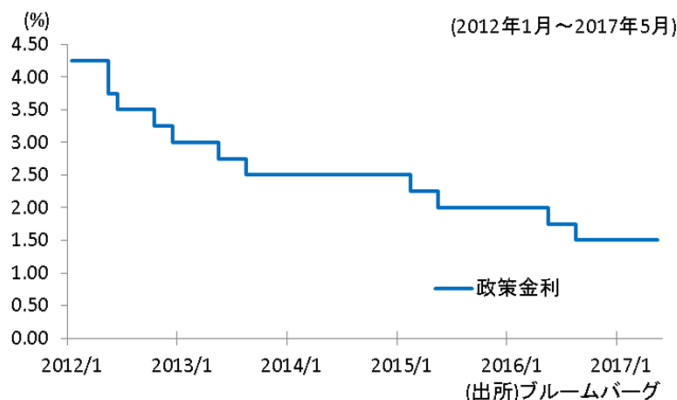
- ・ RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を1.5%に据え置き
- ・ CPI(消費者物価指数)上昇率はRBAのインフレ目標水準に回帰
- ・ 物価上昇圧力が高まれば将来の利上げ前倒し観測を通じて豪ドル相場の押し上げ要因に

<RBAは政策金利を1.5%に据え置き>

5月2日(現地、以下同様)、RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を発表し、1.5%に据え置きました。据え置きは事前の市場予想通りでした。

声明文では、ここ数カ月の雇用統計の結果を受けて労働市場に対する見方を上方修正しました。また、物価動向についても、RBAの想定通りにCPI(消費者物価指数)が上昇してきていることを指摘した上で、経済環境次第では、さらなる上昇圧力がかかっていく可能性があるとの見方を示しました。ただし、RBAは引き続き金融政策に対して中立的な姿勢を維持しており、当面の政策金利据え置きを示唆しました。

オーストラリアの政策金利の推移



当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

<CPI上昇率はRBAのインフレ目標水準に回帰>

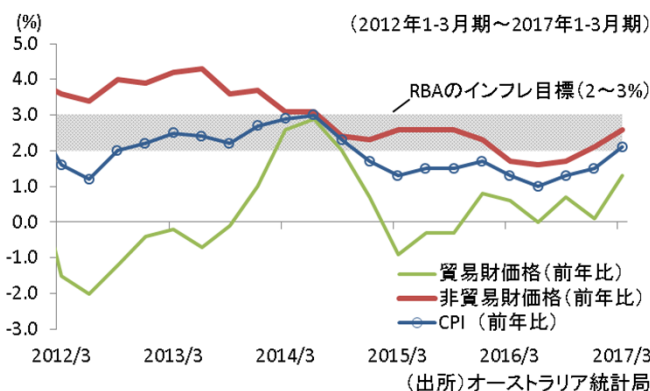
ここで、最近発表されたオーストラリアの経済指標を振り返っておきたいと思います。

4月のRBA理事会以降に発表された経済指標で当社が注目したのは、4月26日に発表された2017年1-3月期のCPIです。CPIは前年比2.1%の上昇と、RBAのインフレ目標水準である+2~3%に戻りました。これは2014年7-9月期以来のことです。

当社ではさらに、CPIを構成する貿易財と非貿易財の価格に注目しました。貿易財と非貿易財の価格を見ると、足元のCPIの加速の背景には非貿易財価格の伸びがあることがわかります(図表:オーストラリアのCPIの推移)。

非貿易財には医療や教育、金融サービスなどが含まれますが、その価格は一般に賃金の動向の影響を受けやすいと言われており、非貿易財価格の伸びは、労働市場が徐々に引き締めつつある兆候を示すものとみています。

オーストラリアのCPIの推移



※貿易財とは衣料品や家具、車といったオーストラリア国内の生産・消費に対して輸出入の割合が大きいもの、非貿易財とは医療や教育、金融サービス、住宅といった輸出入が難しいものが含まれます。

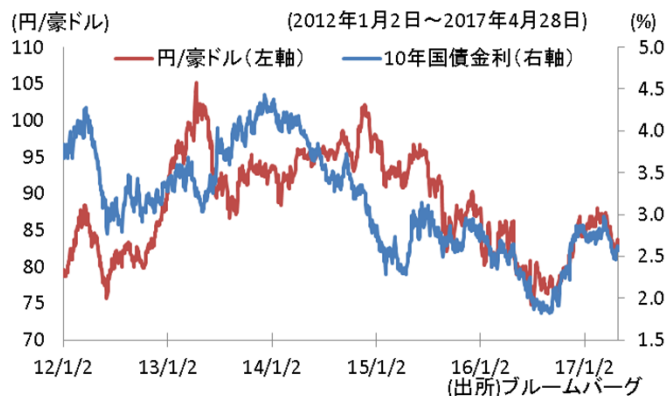
<物価上昇圧力が高まれば将来の利上げ前倒し観測を通じて豪ドル相場の押し上げ要因に>

RBA理事会の声明文では、持続性のある経済成長とインフレ目標を達成するため、RBAは現在の政策金利を維持することが適切だと判断していることがうかがえます。

しかしその一方で、労働市場の改善が賃金を上昇させ、比較的早い段階でCPI上昇率がインフレ目標水準に定着する可能性があることを、先日発表されたCPIの結果は示していると考えています。

市場では利上げ開始時期について、2018年半ばを見込む声が多い状況ですが、CPIが想定より早く上昇した場合には利上げ開始時期の前倒し観測が強まり、豪ドル相場を押し上げる要因になるとみています。

豪ドル円とオーストラリア国債金利の推移



<ご参考> 当社の関連リサーチ

下記のリサーチでは、直近のオーストラリアに関するテーマやその背景などをお伝えしています。

豪州は政策金利の据え置きを決定～利上げを急がない姿勢を示す（2017年4月5日）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170405_2.html

【ファンドマネージャーの運用ノート】資源価格反発と保護主義の台頭から、オーストラリアの魅力が高まる環境へ（2017年2月20日）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170220_1.html

以上

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。